

津名地域で開催される福祉活動！！の予定

日	時 間	行 事 名	場 所
6月 7日（月）	14：00	いちごの家家族会	社協会議室
6月16日（水）	10：00	大町上サロン（大町）	大町上公会堂
	14：00	在サロン（塩田）	在会館
6月23日（水）	10：00	認知症カフェ“おひさま Cafe”	志筑

採用者募集中！！ 社協と一緒に働きませんか？

- ◎福祉・介護職未経験の方も充実研修で安心…
- ◎子育てや介護との両立も大丈夫。働くママさん応援してます!!
- ◎施設・事業概要見学は随時受け付けています!!お気軽にご連絡ください。

デイサービス介助員又は調理員（パート）（一宮）

資 格 自動車免許、ヘルパー2級以上優遇

作業所職員【障がい者就労支援員】（パート）（北淡）

業務内容 生産活動・介護の支援や地域生活を支える業務

資 格 自動車免許、ヘルパー2級以上優遇

地域支援員兼事務補助（パート）（岩屋）

資 格 自動車免許

グループホーム支援員（パート）（津名）

業務内容 知的障がいのある人が暮らすグループホームでの支援業務(夜勤あり)

資 格 ヘルパー2級以上優遇

まずは、お電話でお問い合わせ下さい

淡路市社協 なぎ、やまさき TEL 62-5214

淡路市消費生活センターからのお知らせ

『水回りの修理トラブルにご注意！』



『トイレが詰まったのでマグネット広告の業者に連絡したら、便器や排水管の交換を勧められ20万円請求された。』広告マグネットやネット検索して修理を依頼したところ、高額な料金を請求されたという相談が寄せられています。広告に書いてある料金だけで済むとは限りません。修理等の作業を勧められても、すぐ契約せず複数業者の見積もりを取り、慎重に検討しましょう。工事終了後もクーリング・オフできる場合があります。悩んだ時はご相談ください。

淡路市消費生活センター 0799-64-0999

“淡路市共同募金委員会からのお知らせ”

赤い羽根 募金百貨店

「みんなの気持ちがぐ〜るぐるプロジェクト」

赤い羽根 募金百貨店「みんなの気持ちがぐ〜るぐるプロジェクト」は、募金付き商品を企画された参加店舗が、地域のためになる商品をアピールしながら、淡路市の福祉活動を応援する、地域支援につながる新しいカタチの募金活動です。

4月1日から4月末日まで、合わせて **8,355 円** のご寄付をいただきました。お買い物いただいたみなさま、協力いただいた店舗のみなさま、ありがとうございました。

募金百貨店プロジェクト参加店舗*
 (株) 榎岡石油 様（大谷） (有) 大正あん 様（志筑）
 麵屋 ZOE 様（志筑） 一宮オイル(有) 様（多賀）
 HAGI 美容室 様（志筑） やき焼亭 様（志筑）
 カットハウス ロング様（佐野）

社協の移動販売! 「いづかし号」からのお知らせ

障がいのある人の社会参加や就労の場づくりの一環として、買い物に困難になっている人々が、住み慣れた地域で暮らし続けることを応援するため移動販売を行っています。今年の5月より販売時間が変わっている場がありますのでよろしくお願いします。

【訪問日】 毎週金曜日（原則、祝日もあり）

【販売時間・場所】

- 10：00 市営住宅ヴィラ長沢付近
- 10：20 興隆寺会館
- 11：00 長沢西下会館
- 11：20 長沢会館
- 11：45 野田尾会館下

13：05 県営中田住宅集会所

13：40 木曽上公会堂

14：10 木曽上畑コミュニティセンター

14：45 下司（赤井志郎さん宅前）

15：00 里会館（塩田）

【問い合わせ】 「お物販と販売」アヒオオ！！

地域生活多機能拠点「いづかしの杜」

淡路市仁井 1478（旧仁井保育所）

TEL 80-2678



淡路市社協だより

すまいる つな 第133号

編集・発行: 淡路市社会福祉協議会
 地域支援あいセンター つな
 住 所 淡路市志筑 3119-1
 電 話 0799-62-5214
 FAX 0799-62-5503

2021年6月発行

つながりを絶やさない！

～ホウ酸団子をサロン参加者に～

《高倉サロン（大町）》

大町地区、木曽上畑の高倉サロンでは、毎年ホウ酸団子を参加者で作ってきました。今年は、緊急事態宣言が発令されたことで、これまでのようにみんなで集まって作ることが難しい状況下で、サロンの世話人達は「コロナ禍でも自分達ができることをしたい!」との思いがあり、今年は世話人のみでホウ酸団子を作り、サロン参加者宅に届けることになりました。

ホウ酸団子を手にとった参加者は、「今年も（ホウ酸団子）作りたいと思っててん。手作りやから、ゴキブリによ効くねん」と喜ばれていました。ホウ酸団子を団子状に丸めるところは、各家庭で行ってもらえるように、みなさんの役割を少し残す等の工夫をしました。



↑手分けして大量のホウ酸団子を作っている様子

With コロナ
 誰も傷つけない
 誰も傷つかない



淡路市・淡路市教育委員会
 淡路市人権教育研究協議会
 淡路市社会福祉協議会

今年度に入り、私たちの身近な所でも新型コロナウイルス感染者や接触者が増加し、社協としても風評被害や本人家族への差別的な対応に対して、上記サインを淡路市内4団体とともに積極的な啓発を進めています。



↑作ったホウ酸団子を世話人が手渡しに

コロナ禍では、ふれあいサロン等、従来通り集まって過ごすことが難しい中です。何もせずあきらめてしまうのではなく、高倉サロンのように地域で見守り合いが進むように、自分達でできることを工夫して取り組んでいる活動は地域の中で貴重なものです。

地域の人達がつながりを感じ、心温まる機会が深まる、このような取り組みを社協は今後も応援していきたいと考えています。



この広報誌は、みなさんから預かりしました「赤い羽根共同募金」の一部を財源にして発行しています。みなさんから寄せいただいた募金は、地域の福祉活動の貴重な財源として活用させていただいています。



この広報誌が不要になった場合は、資源ゴミの「その他の紙類」としてリサイクルにご協力をお願いします。

淡路市社会福祉協議会 地域支えあいセンターつな

今年度は下記の5つの重点目標を中心にすすめていきます

①楽しく学べる講座の開催

人との出会い・つながりを大切にしたい学びの機会のすすめ

②ふくしのわかりやすい情報発信

ホームページやフェイスブックを活用した情報発信や相談しやすい環境づくり

③地域で気軽に立ち寄れる場づくり

出入り自由なコミュニティカフェの開催

④子育て世代が会える機会づくり

公園を利用した「青空子育てミーティング」の定期開催

⑤ウォーキングで見守り活動

ウォーキングをしながらご近所の変化に気づいたら社協へ連絡する取り組み

青空子育てミーティングのご案内

塩田地区の里コミュニティプラザの南側一角に、令和2年8月に「里ふれあい児童公園」として、ブランコや滑り台、鉄棒の遊具が設置されました。新しい遊具を使って遊んだり、みんなで気軽に交流して楽しみませんか？

青空のもとで（屋外）、コロナの感染防止に気を付けながら体を動かしましょう。

と き 6月23日（水）10時～

※新型コロナウイルスの感染状況により、中止となる場合があります。

ところ 里ふれあい児童公園

（里コミュニティプラザ横）

※広い駐車場と横の集会所にトイレあり

対 象 子育て中の方とその子ども達

参加費 無料

内 容 みんなで遊んで交流しましょう

問い合わせ先

淡路市社協 62-5214（担当 大場）

※雨天は中止、申込みは不要です。

参加を考えている方は、直接お越しください。

介護者と当事者の集える場

「介護のはじめ」

気になった方、一度覗きに来ませんか？

「今は何とか本人が身の回りのことはできているけれど、介護が必要になってくる時どうしたらいいかな」、「今後はどのような介護が必要になってくるのかな？」等の不安や疑問を感じている人で、本人と介護者が一緒に集まれる場を開いています。みなさんで気軽に集ってみませんか？

日にち：6月9日（水）毎月第2水曜日に開催

時 間：10時30分～11時30分（1時間程度）

場 所：寄り道（アルクリオ1階）

対象者：介護が必要になると感じている人や

現在介護をしている人

内 容：介護についての気軽な話しあいや

簡単な作品づくりや談話等

参加費：実費（作品材料費等）

※新型コロナウイルスの感染状況により、変更または中止となる場合があります。

問い合わせ先

淡路市社協 62-5214

千鳥会在宅介護支援センター 62-5100

淡路市地域包括支援センター 64-2145



このプロジェクトは、「赤い羽根共同募金」を活用して実施しています。

今年も実施しました！

プランターファーム見守りプロジェクト

再び緊急事態宣言が発令された4月後半から5月末にかけて、プランターに植えた野菜を育て収穫を楽しむ『プランターファーム見守りプロジェクト』を実施しました。このプロジェクトは、住民同士がつながりを絶やさず、見守りあいを進め、孤立を防止する目的に実施しています。参加者の中には、ふれあいサロンやいきいき100歳体操の仲間同士、ご近所さんで声をかけあっての参加、民生委員さんと一緒に参加、共同募金 募金百貨店プロジェクト協力店の方等、多くの方が参加され、津名地区では300名近い方が参加しました。

プランターファーム見守りプロジェクトは、閉館中の公民館の屋外や、個人のお庭、団地の公園等、さまざまな場所で距離をとりながら開催されました。プランターは玄関先や庭先に置いて、お互いにお世話する姿を見たら声をかけ合うことができます。「大きくなるの楽しみやな」、「また見に来てよ」と声をかけあう姿は、野菜作りを通して多くの人がつながり、成長を一緒に楽しめる機会となりました。



↑ 個人宅で



↑ 移動販売の買い物前に



赤い羽根 募金百貨店参加店からも



↑ いきいき100歳体操終わりに



↑ ふれあいサロンの皆さんで



団地の公園に集まって

